

2024年度 一宮市社会福祉推進校実践活動報告書

学 校 名	修文学院高等学校	学校No.	
1. 福祉教育の取り組み（目標・計画・推進体制） （1）インターアクトクラブがユニバーサルデザインを意識した表示を作成し、掲示した。 （2）一宮市を中心とした地域に根ざした活動を推進している。 2. 福祉教育の具体的活動の内容（活動の記録） 4月 あしなが学生募金 6月 大江川クリーンアップ 7月 防災コーディネーター養成講座 7月～8月 青少年等ボランティア福祉体験学習 8月 アートフェスタ パネル部門展示 9月 第41回一宮市木曽川町一豊まつり 10月 平和祈念事業・一宮市戦没者追悼式 第43回一宮総合食品フェア 11月 かしの木フェスティバル ゴミ拾いウォーキング in 一宮 12月 東海テレビ交流イベント ボッチャ 赤い羽根共同募金 愛厚ホーム一宮苑 クリスマス会 3校ボッチャ交流会 2月 アジア・アジアパラ競技大会ワークショップ 3月 FMいちのみや ラジオ収録 ユニバーサルスポーツ体験交流会 3. 福祉教育の成果と今後の課題 地元一宮の福祉施設等へのボランティア活動が増加し、地域に根差した活動が継続できている。福祉施設等へのボランティア活動には、一部の部員しか参加できなかったので参加者を調整しながら多くの部員に経験させていきたい。ユニバーサルスポーツや防災、アジアパラ、世界平和について学ぶ機会があったので、部員とともに意識を向上させていきたい。			

※上記内容を含むものであれば、本報告書の様式は問いません。

※当会ウェブサイトに掲載させていただきます。また、可能な限り各校でウェブサイト等に掲載してください。

2024年度 一宮市社会福祉推進校実践活動報告書

学 校 名	愛知県立一宮北高等学校	学校No.	
1. 福祉教育の取り組み（目標・計画・推進体制） 一宮特別支援学校との交流や、地域でのボランティア、社会福祉施設でのボランティアなど、福祉に関する体験活動を通して、責任感や自立心を育て、相手を尊重する豊かな心と社会の一員であるという自覚の育成を目指している。 2. 福祉教育の具体的活動の内容（活動の記録） （1）地域社会でのボランティア活動 校内と学校周辺の美化活動を行い、学校生活を快適にするための環境整備と生徒全員のボランティア精神の育成を図った。 11月には地域交流の一環として、近隣在住の小学生約100名を集め、スポーツや文化活動を通じた交流（北斗スポーツカルチャーフェスティバル）を行った。 （2）一宮特別支援学校との交流 前期には一宮特別支援学校生徒会執行部が本校に来校し、後期には本校生徒会執行部が一宮特別支援学校を訪問し、交流した。お互いの自己紹介と学校紹介をしながら、親睦を深めることができた。 12月には生徒会執行部と希望者の合わせて約25人が一宮特別支援学校を訪問した。学年ごとに分かれ、自己紹介やボッチャ、ビリヤードをして交流した。 さらに、部活動交流や文化祭での交流も実施している。 （3）募金活動、支援活動 校内に設置している募金付き自動販売機から赤い羽根共同募金を行ったり、校内で募金を行い、東日本大震災支援の一環として福島県の幼稚園へおもちゃを送ったりした。 その他、能登半島地震募金活動も行った。 3. 福祉教育の成果と今後の課題 生徒会執行部を中心としてボランティア活動を行い、福祉に対する関心や、責任感、自尊心を育成することができた。 今年度は、老人福祉施設や図書館、障害児支援施設などで希望生徒が夏休みにボランティアを行った。			

※上記内容を含むものであれば、本報告書の様式は問いません。

※当会ウェブサイトに掲載させていただきます。また、可能な限り各校でウェブサイト等に掲載してください。

令和 6 年度 一宮市社会福祉推進校実践活動報告書

学校名	愛知県立一宮西高等学校	学校 No.	3
1 福祉教育の取り組み（目標・計画・推進体制） ・将来について具体的に考え、社会の一員としての自覚を確立するために福祉活動の一端に触れ、ボランティアや一宮聾学校との交流を中心に行うことで、福祉の心、ボランティア精神について学び、幅広く考える姿勢を身に付ける。 ・高齢者や障害のある人たちとの交流を通して、相互に基本的人権を尊重し、差別や偏見なく他人を思いやる心を育成する。 2 福祉教育の具体的活動の内容（活動の記録） 6 月 環境美化活動（1 年生） 9 月 一宮聾学校高等部生徒との交流会（西高祭に招待） 10 月 福祉実践教室 赤い羽根募金 3 福祉教育の成果と今後の課題 福祉教育に関わる活動が実施できるように準備を進め、昨年に引き続き一宮聾学校の生徒と西高校の文化祭を通して交流することができた。福祉実践教室は例年通り行うことができた。来年度も感染症対策を十分行い、活動ができるよう計画する予定である。 一宮聾学校の発表会が本校の授業日に行われたため、訪問することができなかったが、今後も福祉の大切さを生徒に伝え、一人でも多くの生徒が福祉に関心を持てるように考慮したい。			

2024 年度 一宮市社会福祉推進校実践活動報告書

学 校 名	愛知県立木曽川高等学校	学校 No.	
-------	-------------	--------	--

1. 福祉教育の取り組み （目標・計画・推進体制）

(1) 目標 ボランティア教育の一環として、校外・校内ボランティアを通して、日常と違う世界を体験し、様々な人と出会うことによって他者を思いやる心を育む。

(2) 計画 例年参加している校外活動に加え、校内でやってみたいボランティア活動を生徒から募集する。

(3) 推進体制 ボランティア委員会を設置し、各クラスより 2 名ずつ委員を選出する。委員による広報活動を通して、生徒全体にボランティア活動を広める。

2. 福祉教育の具体的活動の内容 （活動の記録）

(1) 校外ボランティア活動

- ・ 通年 ブラスバンド部の地域行事などでの演奏
- ・ 4 月 あしなが学生募金校外ボランティア
- ・ 8 月 夏休みボランティア福祉体験学習事業
- ・ 9 月 ほのぼのまつり校外ボランティア
- ・ 10 月 赤い羽根共同募金校外ボランティア

(2) 校内ボランティア活動

- ・ 通年 清掃美化活動
- ・ 11 月 赤い羽根募金校内募金活動

3. 福祉教育の成果と今後の課題

今年度は、昨年度に比べ男子生徒の参加者も増え、ボランティアに対する興味関心が多様化したように感じた。

参加者の中には、初めてボランティアを行う生徒も多数いたが、普段出会えない方々と出会い、ボランティアを楽しみながら、福祉に関する視野を広げることができた。また、高齢者施設や障がい者施設でボランティアを行った生徒は、他者を尊重し理解することの大切さを学ぶ貴重な経験となった。

今後もより多くの生徒がボランティアに参加できるよう、ボランティア新聞を発行するなど、積極的な広報活動をボランティア委員の生徒ともに行っていきたい。

※当会 Web 上に掲載させていただきます。

また、可能な限り各校でも Web 上（ブログ上でも可）に掲載してください。